

事例①

山口化成工業
株式会社

発泡スチロール製品製造

投資のいらない「運用改善」で 年間1,400万円のコストダウン! 省エネへの取組が 社内コミュニケーションの強化 にも貢献

持続可能な開発目標
(SDGs)との関連

取組の概要・きっかけ

経費全体の2割を占めるエネルギーコストに着目し省エネの取組を開始。環境マネジメントシステムのエコアクション21を取得する等、環境経営に力を入れる。社内グループ活動や業務改善提案制度を通じて、社員のモチベーションアップにも省エネ活動が貢献している。

取組の効果



コストダウン効果

運用改善による省エネで年間
1,400万円*のコストダウン!

*対策実施前との比較

社内
コミュニケーション

グループでの活動により、
社内のコミュニケーションが強化

普段あまり話をしないメンバーどうしが同じグループになることもあるため、横のつながりが強化。業務改善提案制度も再び活性化している。

取組内容

ポイント★その1

無料の省エネ診断を活用

- 省エネルギーセンターの省エネ診断で改善ポイントを発見。
- 「目からウロコの改善策もあり、指摘されて初めて気づいた点も多くありました。」
(松倉社長)

ポイント★その2

まずは「運用改善」から

- 実施した運用改善の例
 - ・ボイラーの蒸気圧力の適正化 ・ボイラーの空気比の適正化
 - ・蒸気配管の保温対策 など
- 削減したコストを原資に投資が必要な省エネを行い、さらなるコスト削減を目指す。



ポイント★その3

グループ単位での改善活動

- 省エネや2S(整理・整頓)の取組を、5つのグループに分けて実施
⇒整理・整頓により、油漏れが見つかる等の発見も!
- キーパーソンを置き、目標を自ら決めさせ、またプレゼンの機会を与える など、社員に自主的に動いてもらえるよう工夫。
- 成果が出始めるとやる気がUPし、継続的な取組に。



企業インタビューより

「無料の省エネ診断や、省エネ設備への補助金などは要チェックです。メルマガやアプリなど、自動で情報収集できるシステムに登録しておくことはおすすめです。」(松倉社長)

会社概要

山口化成工業株式会社	
本社	愛知県豊川市御津町 広石五反田34
TEL	0533-76-3105
資本金	2,000万円
従業員数	27名

コラム

中小企業の
省エネ取組

投資のいらない取組や投資効果の分かりやすい取組の実施率が高い
(太字は投資のいらない取組)

中小企業での
省エネ取組トップ5

- ① 不要な照明の間引き
- ② 空調の温度設定
- ③ 高効率照明(LED等)の導入
- ④ 社員への省エネの呼びかけ
- ⑤ 高効率空調の導入

日本商工会議所「中小企業における地球温暖化対策の取組に関する調査結果」より